

「ようこそ海から高砂へ」

Well come form the sea to TAKASAGO

今流北前船

帆船みらいへ@高砂

観光庁・近畿運輸局視察行程 2023-9-8

12:00	11:00	11:15	高砂商工会議所	都倉市長、福島会頭ご挨拶	自己紹介
	11:20	→	パワーランチミーティング	高砂市紹介、事業説明、帆船みらいへ2022実績	
	→	12:30		会議所建物説明等	於商工会議所会議室
13:05	12:30	12:50	会議所外観、三連蔵見学	徒歩	
13:20	12:50	13:20	工楽松右衛門旧宅見学		
	13:25	13:30	高砂神社移動	徒歩移動	
	13:30	14:00	高砂神社見学		
	14:00	14:10	船着場移動	徒歩移動	
	14:20	14:50	堀川運河周航見学	ヨット移動	向島公園・東風請の波止、
	14:50	14:55	旧花井邸着	車移動	
	14:55	15:15	旧花井邸見学		
	15:15	15:35	生石神社移動	車移動	
	15:35	16:05	生石神社・石の宝殿参拝		
	16:05	16:15	松下石材店移動		
	16:15	16:45	竜山石石切り場見学		
	16:45	17:10	高砂商工会議所移動	車移動	
17:10	17:10	18:00	会議室	質疑応答他	
18:15	18:00	18:10	山陽電鉄高砂駅移動		
	→	18:30頃	姫路駅着（JR徒歩5分）		

今年度の計画と前年度実証のご説明

2023年度採択事業実施概要

インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業【一般型】

松右衛門帆ゆかりのまち 高砂海文化体験推進事業

-1.申請概要

-2.帆を体験！ツアーメニュー

-3.応募の背景

2022年度採択事業実施概要

観光庁 令和4年度「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」
(文化資源連携形)

日本遺産 北前船寄港地・船主集落集客事業

～帆船みらいへ で巡る日本遺産 北前船寄港地・船主集落～

-1.事業概要等、実証内容

-2.トリニティーとは

事業費：6,036千円
(補助見込額：5,018千円)

事業の概要

当NPO団体が推進のフィールドとする海をテーマに、北前船寄港地・船主集落でもあり、北前船の帆として使用された松右衛門帆のゆかりの地である高砂を拠点に帆を動力源とする帆船やヨットセーリングの体験と歴史的建造物が残る高砂のまち並み散策のコンテンツを下記の取り組みで2025年の関西万博を見据えてインバウンド対応も含めて開発及び充実を図る。

実施体制	事業実施主体：特定非営利活動法人 高砂海文化 2 1 C 連携団体：ルネサンスみなと町高砂、高砂地区まちづくり協議会、(一社) グローバル人材育成推進機構、(株) J T B 姫路支店																		
地域の課題	・工業家旧宅、工業松右衛門の発明した帆布「松右衛門帆」や湊の修築が江戸時代の海運業に齎した文化と経済への影響は現代にも繋がり、日本遺産北前船寄港地・船主集落として登録されているものの、イベント等で一時的な集客はできるが、継続的な誘客・再訪に繋がっていない。 ・現在も面影を残す歴史・文化が溢れる町全体をテーマパークのように回遊し楽しめる仕組みが必要 ・陸からの他、港町の特色を活かし海からの来訪など、集客に繋がる新たなコンテンツの構築が必要 ・当地は北前船にも使われた松右衛門帆を発明した工業松右衛門ゆかりの地であり、松右衛門帆などご当地に因む観光コンテンツの整備が必要。																		
造成するインバウンド向け観光コンテンツの内容	①帆を体験！ 帆船みらいへ体験航海と高砂まちあるき 実施時期:10月7日(土)～9日(月祝) インバウンド乗船も対象とした神戸～高砂及び播磨灘・家島諸島周遊の帆船みらいへの体験航海を実施、また、高砂ではインバウンドデジタルマップを活用した高砂まち歩きも実施する。 神戸・明石海峡～播磨灘体験航海やサンセットBBQクルーズ（日帰り、船内泊）、播磨灘・家島諸島体験航海（日帰り）と高砂まちあるきを組み入れた計5つのコースを展開予定。 ②帆を体験！ 高砂ヨットクルーズ体験と高砂まち並み散策 実施時期：2023年8月～10月 当団体が実施するヨット体験を一般及びインバウンド向けの体験として商品化、継続的な販売ができる体験商品として開発を進める。 コース）高砂堀川～ヨットクルーズ体験（播磨灘）～堀川・・・古民家での昼食 ※昼食後は、デジタルマップにて高砂自由散策																		
アピールポイント (独自性、地方誘客や観光消費拡大への効果など)	・松右衛門帆ゆかりの当地 北前船寄港地・船主集落である高砂で帆と海をテーマに帆船やヨットクルーズで巡る播磨灘航海とデジタルマップを活用したまち歩きツアーを行うことで、当地高砂を発信、更なる誘客を推進、地域での消費喚起で持続可能な観光地域づくりに寄与できる。 ・「The New York Times」にて「52 Places to Go in 2019」にて日本で唯一7位にランクインした瀬戸内海域に位置し、帆、海や多島美を味わう魅力的な商品として期待ができる。																		
スケジュール	<table><tr><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td>企画・計画関係者調整</td><td>ツアー造成・マップ修正 広報・募集サイト制作</td><td>ヨットクルーズ体験実施 参加者募集</td><td>ツアー実施 アンケート集計</td><td>報告書・精算書作成 データ分析</td><td>次年度の事業計画検討</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>デジタルマップ展開</td><td></td><td></td></tr></table>	10月	11月	12月	1月	2月	3月	企画・計画関係者調整	ツアー造成・マップ修正 広報・募集サイト制作	ヨットクルーズ体験実施 参加者募集	ツアー実施 アンケート集計	報告書・精算書作成 データ分析	次年度の事業計画検討				デジタルマップ展開		
10月	11月	12月	1月	2月	3月														
企画・計画関係者調整	ツアー造成・マップ修正 広報・募集サイト制作	ヨットクルーズ体験実施 参加者募集	ツアー実施 アンケート集計	報告書・精算書作成 データ分析	次年度の事業計画検討														
			デジタルマップ展開																

これまでに活用した観光庁事業	
看板商品創出事業	○
域内連携促進事業	
誘客多角化事業	

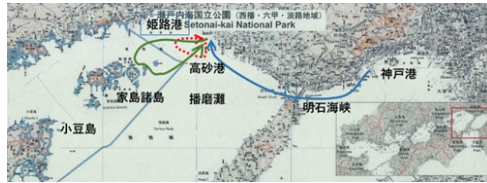
※上記図ではまる場合はバックスロ投入



帆船みらいへ船上体験 サンセットクルー



ヨットクルーズ体験



高砂デジタルマップ高砂まちあるき

帆を体験、二つのメニュー

帆を体験!

帆船みらいへ体験航海と北前船寄港地・船主集落高砂まちあるき

高砂まちあるき × 帆船みらいへ

帆船みらいへ体験航海と北前船寄港地・船主集落高砂まちあるき

10/7(土)~9(月)

令和5年度 観光庁インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業
松右衛門帆ゆかりのまち 高砂海文化体験推進事業

旅行企画・実施 株式会社 JTB 姫路支店
事業主 特定非営利活動法人高砂海文化 21C
協力 高砂市 一般社団法人高砂市観光交流ビューロー ルネサンスみなと高砂 高砂地区まちづくり協議会

令和5年度 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業
松右衛門帆ゆかりのまち 高砂海文化体験推進事業

帆を体験!
高砂ヨットセーリング体験と
高砂まち並み散策 (日帰り)

高砂ヨットセーリング体験と
高砂まち並み散策 (日帰り)

JPN 6322

2023年
8月26日(土)
9月3日(日)・23日(土)・24日(日)・30日(土)
10月1日(日)・14日(土)・21日(土) ※10月14日は雨天決行

参加代 高砂・高砂港 船主より 7,800円
参加人数 高砂・高砂港 1組3名以上で参加ください。最少参加人数 12名
ガイド 高砂市観光交流ビューロー 高砂市観光交流ビューロー員
参加費 高砂市観光交流ビューロー 高砂市観光交流ビューロー員
申込締切 高砂市観光交流ビューロー 高砂市観光交流ビューロー員
行 高砂市観光交流ビューロー 高砂市観光交流ビューロー員
集合時間 高砂市観光交流ビューロー 高砂市観光交流ビューロー員
集合場所 高砂市観光交流ビューロー 高砂市観光交流ビューロー員

日本遺産北前船寄港地・船主集落 ～江戸の町割り、昭和のまち並みが残る、結びのまち「高砂」散歩～
タイムスリップ 高砂町おさんぽマップ

江戸時代から続く町割り、昭和のまち並みが残る、結びのまち「高砂」散歩～
高砂町おさんぽマップは、高砂町の歴史・文化・観光情報を、タイムスリップしたかのように楽しめるおさんぽマップです。
高砂町の歴史・文化・観光情報を、タイムスリップしたかのように楽しめるおさんぽマップです。
高砂町の歴史・文化・観光情報を、タイムスリップしたかのように楽しめるおさんぽマップです。

高砂町おさんぽマップ

高砂町おさんぽマップ

高砂町おさんぽマップ

ヨット体験とまち歩きのセットメニューはこの実証実験から、更にメニューに付加をつけて固定化を目指す。

*メニュー付加内容は後ほどご紹介

来高回数を増やす

- ①②コース
- ②③④コースヨット体験
- ④コース



観光庁申請 入力画面

インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業【一般型】 提案書

事業名		松右衛門帆ゆかりのまち 高砂海文化体験推進事業		
事業を実施する市区町村		兵庫県高砂市		
実施主体	名称	特定非営利活動法人 高砂海文化 21C	代表者名（役職）	河合清司（理事長）
	住所	兵庫県高砂市高砂町東宮町108	郵便番号	〒676-0043
	担当部局	副理事長	電話番号	080-3783-6237
	担当者氏名	小田和美	MAIL	tyacht_06@yahoo.co.jp
※「連携する市区町村の同意書」を提出すること ※適宜行を追加ください	市区町村名	兵庫県高砂市		
	担当部局	政策局シティプロモーション室	電話番号	079-441-9904
	担当者氏名	南 達也	MAIL	t-minami@city.takasago.lg.jp
連携先 ※適宜行を追加ください ※全ての連携先について、 様式6「連携先の同意書」を提出すること	団体／組織		役割 ※本事業の役割を明確に記載すること	
	一般社団法人高砂市観光交流ビューロー		高砂町まちあるきガイド、広報等支援業務	
	ルネサンスみなと町高砂		事業推進サポート、連絡調整	
	高砂地区まちづくり協議会		船主集落受入協力調整	
	一般社団法人グローバル人材育成推進機構		帆船みらいへ運航	
	株式会社 JTB 姫路支店		ツアー企画造成、広報制作他事業実施	

申請項目抜粋次ページ

活用する地域の
観光資源

事業概要

地域の課題

地域の課題に対し
これまでに行った取組

地域独自の
観光資源

活用する地域の 観光資源

①日本遺産北前船寄港地・船主集落 高砂のまちなみ

「北前船」の寄港地で、港町や海運などに関連した遺構やまちなみが残る地域で日本遺産 北前船寄港地・船主集落の認定を受けています。構成文化財としては、北前船船主であり、帆布の製造法を発明した工楽松右衛門の旧宅の他、北前船の物流を担った堀川遺跡、江戸時代の町割りなど歴史的景観形成地区港町、高砂神社ある常夜灯などがあります。

②瀬戸内 播磨灘・家島諸島の多島美

当地高砂市や姫路市の南側、東は明石海峡、淡路島、西は小豆島、南は四国に区切られた瀬戸内海東部の海域 播磨灘は、大小44の島々からなる家島諸島の多島美を味わうことができます。

③北前船に使われた松右衛門帆ゆかりのまち

当地高砂は、北前船にも採用された松右衛門帆を発明した工楽松右衛門ゆかりの地。同じく帆を動力源とし神戸港を母港に瀬戸内等を航行する「帆船みらいへ」や「ヨット」を一つの観光資源として活用します。

事業概要

①当NPO団体が推進のフィールドとする海をテーマに、北前船寄港地・船主集落でもあり、北前船の帆として使用された松右衛門帆のゆかりの地である高砂を拠点に帆を動力源とする帆船やヨットセーリングの体験と歴史的建造物が残る高砂のまち並み散策のコンテンツを下記の取り組みで2025年の関西万博を見据えてインバウンド対応も含めて開発及び充実を図る。

地域の課題

- ①工楽家旧宅、工楽松右衛門の発明した帆布「松右衛門帆」や湊の修築が江戸時代の海運業に齎した文化と経済への影響は現代にも繋がり、日本遺産北前船寄港地・船主集落として登録されているものの、イベント等で一時的な集客はできるが、継続的な誘客・再訪に繋がっていない。
- ②現在も面影を残す歴史・文化が溢れる町全体をテーマパークのように回遊して楽しめる仕組みが必要。
- ③陸からだけでなく、港町の特色を活かし海からの来訪など、集客に繋がる新たなコンテンツの構築が必要。
- ④当地は北前船にも使われた松右衛門帆を発明した工楽松右衛門ゆかりの地であり、松右衛門帆などご当地に因む観光コンテンツの整備が必要。
- ⑤教授、次長、専門官アドバイス：宿泊施設、南北移動手段、食事処（ナイト）、推進一体化、船運行組織、水辺、海辺、産業観光、NPO限界、コンテンツ活用、PRプロモーション、ナイト観光（ヨット工場夜景＋神社朝参拝）、寺泊、資源（ヨット、生石神社、古民家）、2次交通アクセス（近畿運輸局自動車交通部）、食べる（アナゴ）・泊まる・遊ぶ体験。

地域の課題に対し これまでに行った取組

- ①北前船寄港地間の交流として高砂堀川から坂越まで船をチャーターして北前船航路の航行体験と地元団体との交流会を74名の皆さんと実施しております。
- ②工楽家旧宅を訪れる観光客に対して歴史ある堀川運河の東風の波止請けなどを巡るヨット体験を月1で開催
- ③工楽家旧宅や堀川護岸、周辺を出店会場としたマルシェを開催し多世代の誘客
- ④歴史や文化に触れるワークショップ(松右衛門帆、竜山石など)の定期開催
- ⑤市内及び近隣市町村の親子をターゲットとした、歴史・文化・環境・観光に関する学習会の開催
- ⑥港町として賑わった歴史的景観形成地区に指定されている町並みを歩いて楽しむ、飲食店MAPや歴史・文化遺産ノートを各店舗や団体と協力し作成、随時更新
- ⑦2022年観光庁 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業に参画、日本遺産 北前船寄港地・船主集落集客事業 ～帆船みらいへで巡る日本遺産 北前船寄港地・船主集落～として、帆船みらいへを活用した北前船寄港地・船主集落ツアーやデジタルマップによる高砂まち歩きツアーを実施。

地域独自の
観光資源

①日本遺産北前船寄港地・船主集落 高砂のまちなみ

「北前船」の寄港地で、港町や海運などに関連した遺構やまちなみが残り日本遺産 北前船寄港地・船主集落。構成文化財としては、北前船船主であり、帆布の製造法を発明した工楽松右衛門の旧宅の他、北前船の物流を担った堀川遺跡、江戸時代の町割りなど歴史的景観形成地区港町、高砂神社の常夜灯など歴史文化が残るまちなみです。

②瀬戸内 播磨灘・家島諸島の多島美

当地高砂市や姫路市の南側に位置する播磨灘は、目の前の多島美の家島諸島や東側の明石海峡、淡路島など風光明媚なロケーションや海域で獲れる魚介類。

③北前船に使われた松右衛門帆ゆかりのまち

北前船にも採用された松右衛門帆を発明した工楽松右衛門ゆかりの地。同じく帆を動力源とし神戸港を母校に瀬戸内等を航行する「帆船みらいへ」や「ヨット」を一つの観光資源として活用します。

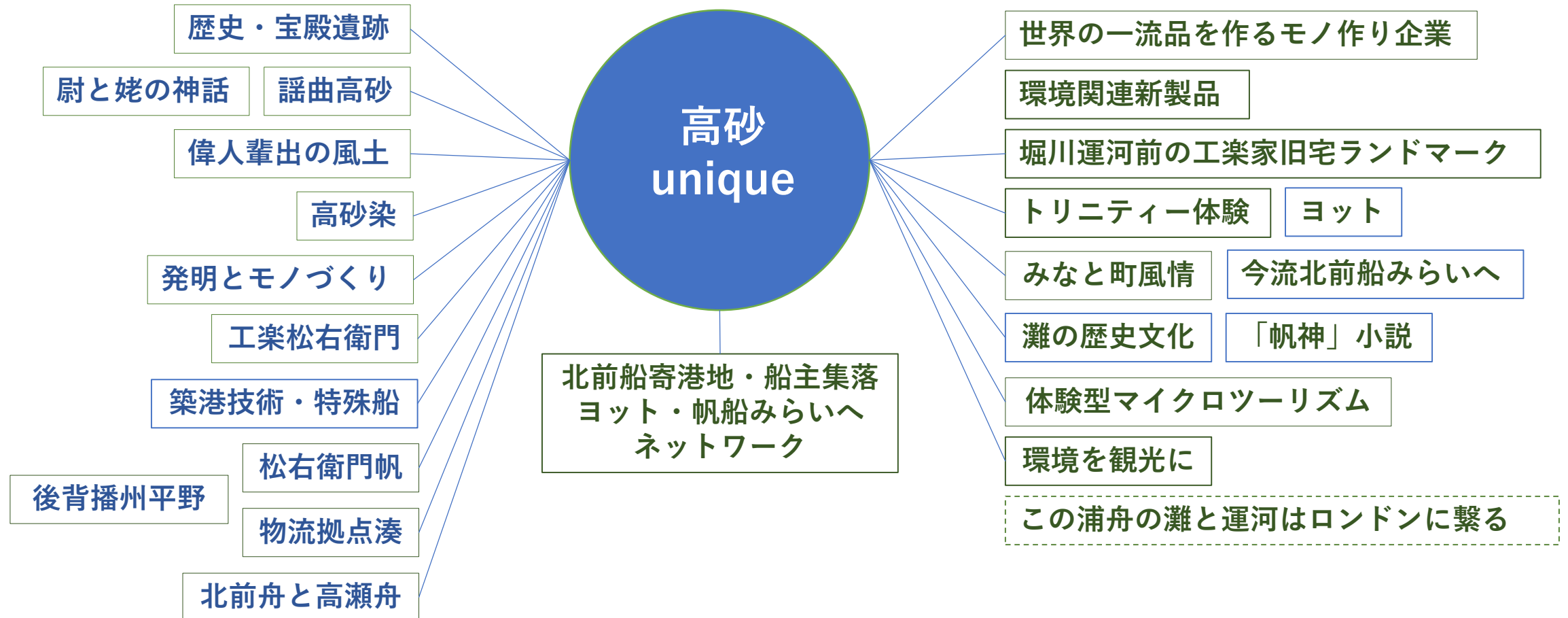
高砂
unique

事業への応募の背景1

「高砂市歴史文化基本構想」

地域独自の
観光資源の続き

高砂にしかない強みを活かす



事業への応募の背景2

歳を重ねるとみえてくる景色がある、
そこから未来への妄想が始まる。

- ✓ この子たちの齢から、灘や運河の環境保全を伝えないとなりませんね。
- ✓ 運河をヨット体験で巡る、まあこんな風景があるとは、、。
- ✓ 高砂で生まれ住んでる女性曰く、
孫とヨットに乗りフッと思う、この歳になると住む町の良さがわかる。
- ✓ 働くある高齢女性、運河も灘もみんなのもの、うまく使うことが大切、
娘と孫をヨットに乗せて。
- ✓ 東風の請波止をみて、ここにも松右衛門さんの遺構があるとは、、。

上記は月例行事体験参加者の声
36pに昨年度観光庁事業参加者の印象記載

「過去と未来から学ぶ」 キャッチコピー

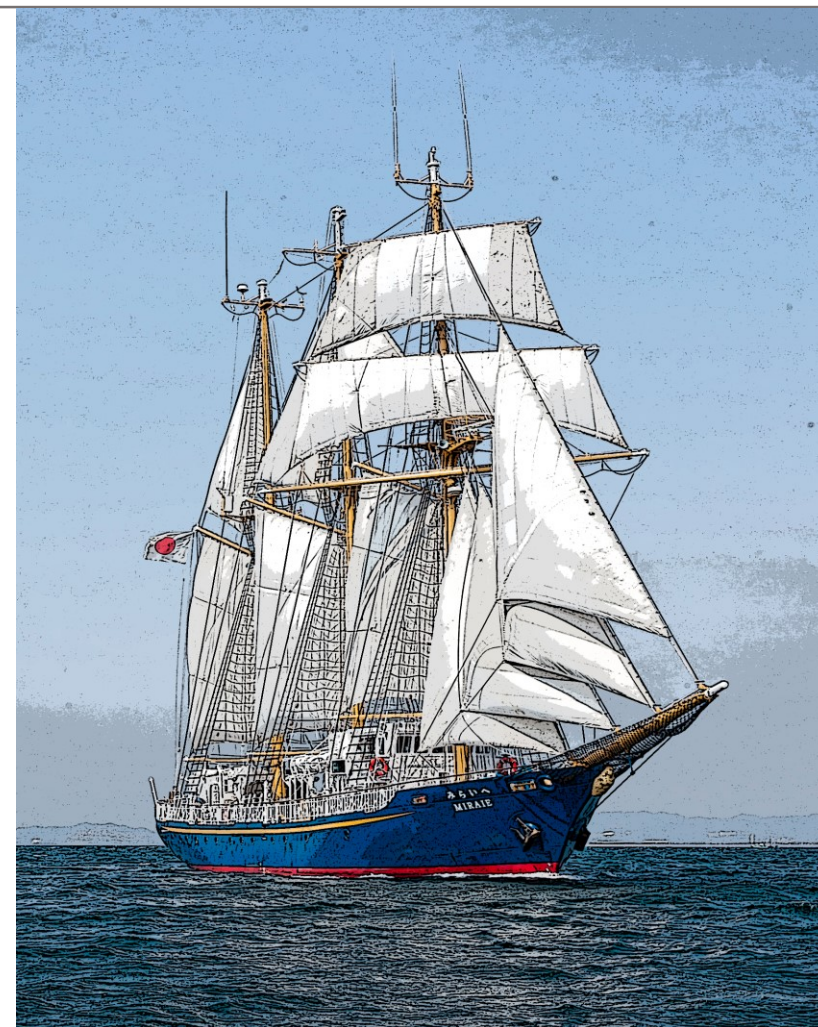


10/8 9:30am~2:30pm

今流 北前船

帆船みらいへ@高砂

水主の末裔若衆たちは、この日だけパイレーツになる。
目をとめた君、... なってみないか。



高砂や、この浦舟に帆をあげて

We'll come from The sea to TAKASAGO
Shall we raise the sails of kono Urabune MIRAIE

modern Kitamaebune
Hansen Miraie@TAKASAGO



2022年度採択事業実施概要

応募事業名称：

観光庁 令和4年度「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」（文化資源連携形）

申請事業名称：

日本遺産 北前船寄港地・船主集落集客事業

～帆船みらいへで巡る日本遺産 北前船寄港地・船主集落～

事業概要

事業の趣旨

日本遺産北前船寄港地を『帆船みらいへ』を北前船に見立てて、各地の日本遺産北前船寄港地を巡る体験航海を実施、北前船寄港地・船主集落を巡ることで日本遺産に対してより理解を深め、将来的には当地高砂の他、各北前船寄港地で当該ツアーを展開することで、日本遺産 北前船寄港地・船主集落を巡る新たな看板商品として、全国への波及をも視野に取り組む。

今回は、実証事業としてモニターの的にツアーを実施、次年度以降の帆船みらいへ北前船寄港地航海と船主集落のまちあるきをセットとした看板商品へと昇華させていきます。

プロジェクトの特徴

- 帆船みらいへを北前船に見立て北前寄港地訪問ツアー
- トリニティー体験*を観光資源とする実証実験
- 港町高砂の復古（ようこそ海から高砂へ）
- まち歩きデジタルマップの制作導入継続実験
- インバウンドの実証（外国人参加・・・今回3名）

トリニティー（三位一体）体験*とは、

- ①郷土の歴史に触れる。
- ②海洋プラスチック環境を身近な堀川運河と播磨灘で触れる。
- ③松右衛門帆の北前船とスポーツであるヨットの動く原理とは同じであること体験。
これらをワンストップで伝える仕組み。

北前船寄港地ツアーコース

Aコース兵庫津（神戸港）～高砂体験航海と高砂まちあるき（日帰り）

Bコース高砂港サンセットクルーズ、高砂～室津体験航海と室津のまちめぐり（1泊2日）

Cコース室津のまちめぐりと室津～高砂体験航海（日帰り）

Dコース高砂～室津体験航海と室津のまちめぐり（日帰り）

Eコース高砂～兵庫津（神戸港）体験航海（日帰り）



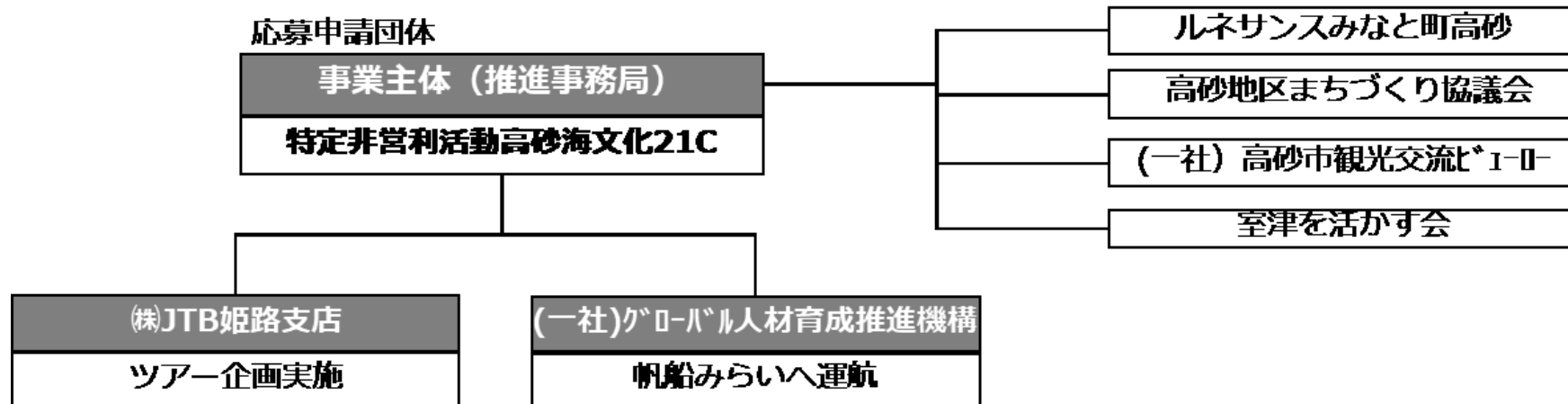
帆船「みらいへ」概要

運航者 : グローバル人材育成推進機構
用途 : 旅客船（練習帆船）
総トン数 : 230トン（国内）・362トン（国際）
全長・幅 : 52.16m×8.60m
旅客定員 : 38人（宿泊の場合）
主機関 : 320PS×1基
帆 装 : 3本マスト・総帆数13枚



プロジェクトチーム

- 事業実施主体 : 特定非営利活動法人高砂海文化21C
- ツアー実施主体 : 帆船みらいへプロジェクト実行委員会 特定非営利活動法人高砂海文化21C
- 企画協力 : ルネサンスみなと町高砂 高砂地区まちづくり協議会 一般社団法人高砂市観光交流ビューロー 室津を活かす会
- 旅行企画実施 : JTB姫路支店
- 後援 : 高砂市 高砂商工会議所 高砂ロータリークラブ 兵庫県東播磨県民局
- アドバイザー : 高砂市シティプロモーション室



乗船実績
178名

令和4年 旅行設定期間

11/12(土)~14(月)

帆船みらいへで巡る

高砂と室津

日本遺産 北前船寄港地・船主集落



高砂地区歴史的景観形成地区
※写真等はイメージです。

令和4年度 観光庁 地域独自の観光資源を活用した地域の振興を目的とする観光振興事業

日本遺産 北前船寄港地・船主集落集客事業

旅行企画・実施 株式会社 JTB 姫路支店

事業実施主体 帆船みらいへプロジェクト実行委員会 特定非営利活動法人 高砂海文化 21C

企画協力 一般社団法人 高砂市観光交流ビューロー ルネサンスみなと町高砂 高砂地区まちづくり協議会 室津を活かす会

後援 高砂市 高砂市教育委員会 兵庫県東播磨航路局 高砂商工会議所

この事業の企画等には、アンケート等、商品開発に係る調査票、応募券等をお使いさせていただきますので、ご協力をお願い申し上げます。

[illegible]

高砂町歩き デジタルマップ QRコード



期間中1335名が
アクセス
外国言語を使う方
560人がアクセス

江戸時代から続く港町、高砂は今も当時の風景を残しています。
タイムスリップしたかのように思える街並みを
最新のデジタルマップ「Stroly」を活用し、町名看板を
漁りながら旧跡を訪ねます。駅前の銭湯はまるでアニメの
舞台の湯屋みたい。船の帆がらでできた雑貨、小物屋さんでは
かわいらしいグッズを探したり、歩き疲れたら古民家を改装した
カフェでひと休み。ノスタルジックで心地よい旅でしたら
時間が流れる高砂で秋の休日をお過ごしください。

おひとりでも
気軽に参加
いただけます

＜実施予定＞2022年
10/15(土)・16(日)・23(日)・29(土)・30(日)
11/5(土)・19(土)・20(日)・26(土)・27(日)

※4名様以上の場合、上記の日曜以外にも実施可能ですが、別途、お問い合わせください。

＜参加人数＞無制限
15名(最少参加人数2名) 2,000円(大人4人用) ※ボランティアガイドがご案内します。

＜集合時間＞午前9時50分 集合場所 山陽電車高砂駅改札口前 高砂駅の3日前まで

＜注意事項＞
・雨天ですが、雨天時は中止となる場合がございます。
・その場合、前日17時までにご連絡ください。
・歩きやすい靴と服装でご参加ください。
・車などに十分注意し、各自で責任をもって行動してください。
＜新型コロナウイルス感染症対策について＞
・マスクの着用をお願いします。
・スタート時、検温、手洗い消毒のご協力をお願いします。
・発熱や体調がすぐれない方は、参加をご遠慮ください。

お問合せ・お申込みは TEL 079-289-2120 FAX 079-281-5545
株式会社 JTB 姫路支店 メール: himeji_desk@jtb.com 受付時間: 月～金 9:30～17:30(土・日・祝日休業)
ツアーデスク 兵庫県姫路市南駅前町100 パラシオ22階 WEBでお申込みの方は
右の二次元コードを
読み取ってください

江戸の町割り、昭和の町並みを行く
ふらりまち歩き

日本遺産北前船寄港地・船主集落
〜江戸の町割り、昭和の町並みが残る、
結びのまち「高砂」散歩〜

＜コース詳細＞
集合 山陽電車 高砂駅
5分 ▼ 450m
梅ヶ枝湯
2分 ▼ 180m
十輪寺
3分 ▼ 270m 申義堂
古民家カフェ等のしずく
9分 ▼ 770m 三義製紙船主集落
高砂神社
5分 ▼ 460m 高砂煉瓦倉庫
御影屋 (船主門前ワークショップ)
2分 ▼ 140m
工業松右衛門旧宅 三義製紙
13分 ▼ 1,060m 高砂町立博物館、
船主レトロショップ、
山陽電車 高砂駅 解散

コース距離 約3,330m
所要時間 約180分
○は入場券所、その他のスポットは
外観からの見学となります。

ご参加のお客様には、アンケート等、高砂地区に
関するアンケート、ご意見等をお伺いさせていただきます。
※お申し込みの際は、お名前をお知らせください。



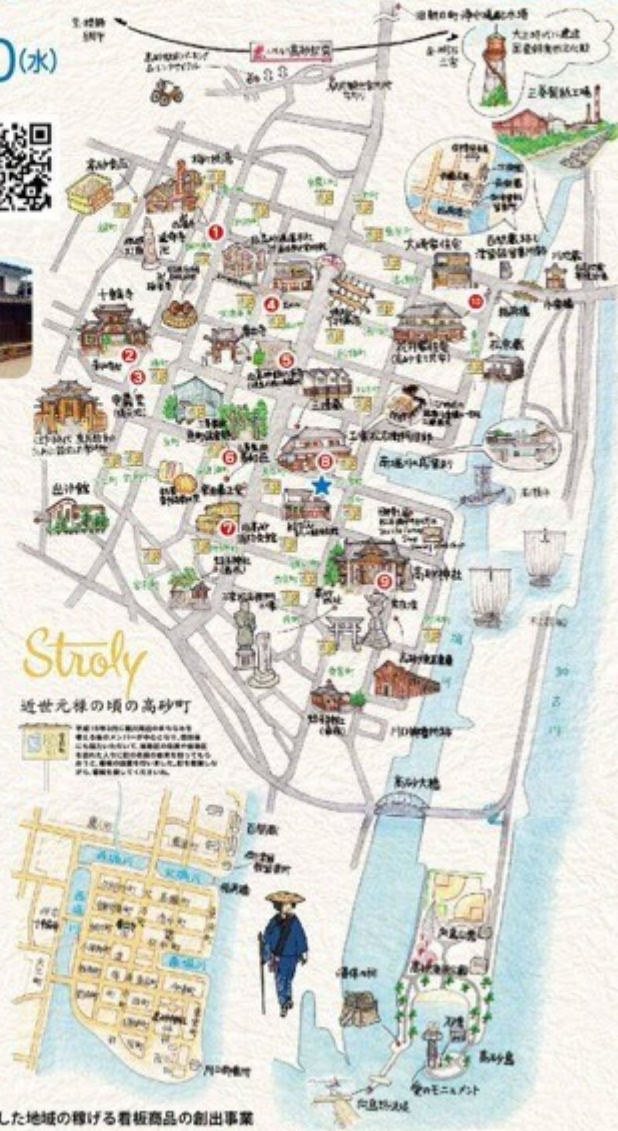
日本遺産北前船寄港地・船主集落 〜江戸の町割り、昭和の町並みが残る、結びのまち「高砂」散歩〜
Stroly 高砂デジタルスタンプラリー
高砂まちあるきの10箇所のスポットを巡りながら、スマホを使ってスタンプを集めます。
参加は無料。8つ以上のスタンプがたまれば、先着100名様に素敵な景品をプレゼント！
景品の交換は「まちの観光会館 結びん」にて。GPSで位置情報からスタンプを集める特徴的なスタンプラリーです。 先着100名様
スタンプ
8つで
景品
プレゼント

＜実施期間＞2022年
10/1(土)～11/30(水)

＜参加方法＞
スマートフォンなどで、こちらのマップに
掲載のStrolyデジタルマップの二次元コ
ードを読み取り、デジタルマップを起動し
てお楽しみください。
(スマートフォンのGPS機能をオンにして
ご利用ください。)

＜景品交換場所＞★
まちの観光会館
結びん
オープン 10:00～17:00
TEL 079-441-8076
※景品交換は先着100名様と
なります。

＜スタンプポイント＞



令和4年度 観光庁 地域独自の観光資源を活用した地域の移る看板商品の創出事業
事業実施主体 特定非営利活動法人高砂海文化21C 運営協力 一般社団法人高砂市観光交流ビューロー

帆船みらいへスナップ写真

ようこそ海から高砂へ
副市長の歓迎式典



砂山の高砂港へ繋留風景



立派な
室津港の風景

マイクロプラスチック採集風景



海の環境座学風景

この浦船に帆を揚げる、チームワーク



松右衛門帆の北前船も
同じように帆をあげた



初冬の寒空の下でも

観光事業の実証実験 世界最長大橋をくぐるシーン



女性クルーの
マストクライム



舳先に移動するアトラクション

工楽家旧宅前の堀川運河で ヨットに乗船、帆船みらいへまで運河の景色を楽しむ



BBQディナー & 宿泊のお客様

夕暮れ時の風景



船内宿泊生活説明の風景



BBQディナー風景



デッキパーティー風景

宿泊客の体験 朝のデッキ磨きの風景





宿泊客のミーティング ラジオ体操風景



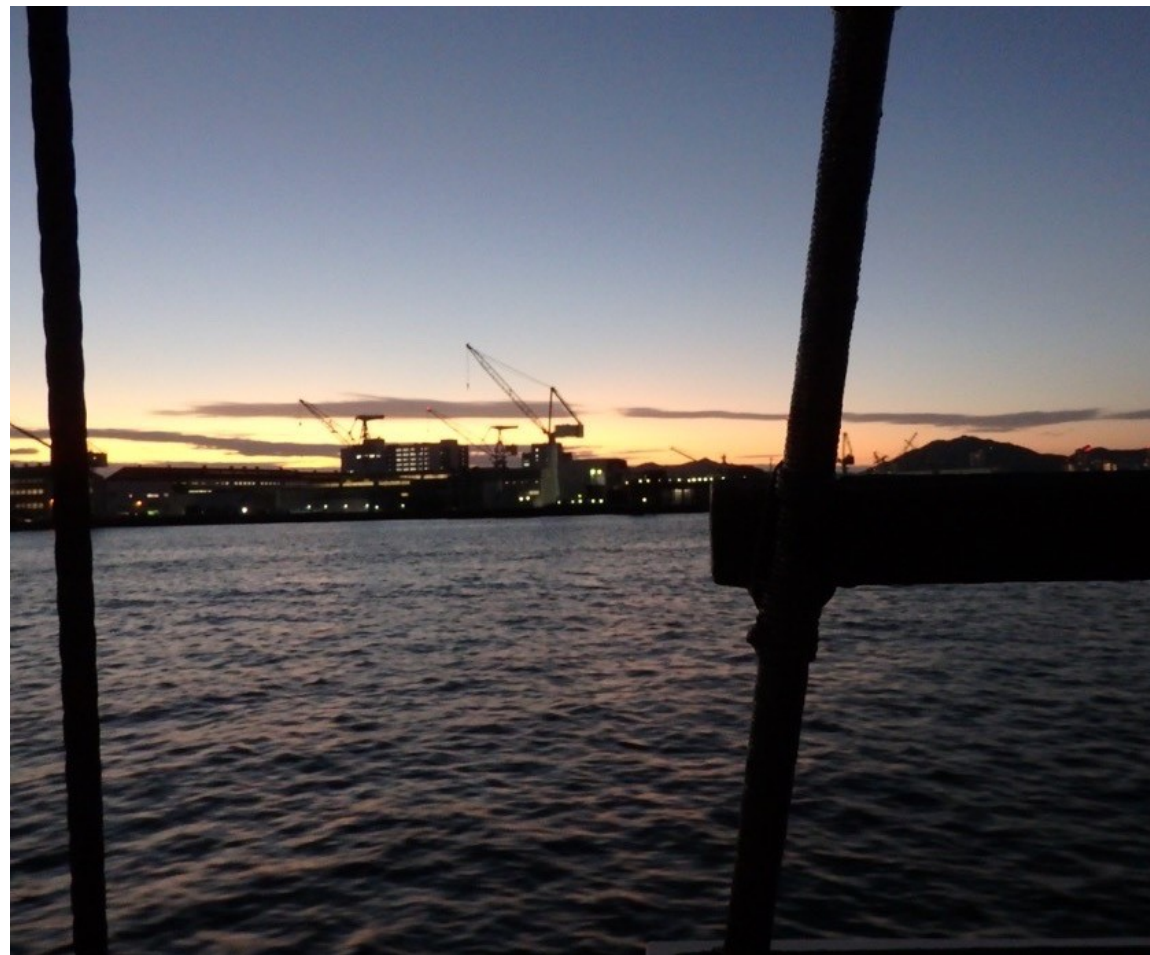
神戸港、夜景を楽しむ入港





帆船みらいへ母港の
夜景をガイド

北前船寄港地・兵庫津エリア



神戸メリケンパーク オリエンタルホテル灯台



神戸港中突堤史の シンボル灯台



メリケン波止場対岸



ホテルオークラ



Mosaicの観客



みらいへ左舷の乗船客



灯台の信号旗 UW & KOBE



参加者の印象コメント

大人の乗船体験者からは（含むメールでのコメント）

- ①強烈なまでに深く記憶に刻まれる一日だった。
- ②帆船みらいへは世代を超えて楽しめる上に教育効果が絶大。
- ③不定期で北前航路を運行してはどうか。
- ④高砂の港を綺麗にして欲しい。
- ⑤高砂はいい街、知らなかった。

子どもからは

- ①船上での海洋プラスチック採取は初めて、いい経験になった。
- ②歴史と環境の座学を子ども向けにして欲しい。

約77%が満足評価

トリニティー体験の風景

ヨット体験＋まち歩き＋トリニティー＋環境
これらを観光にメニュー化



ヨット体験とまち歩きの
セットメニューはこの
実証実験から、
更にメニューに付加を
つけて固定化を目指す。

トリニティー（三位一体の体験）

- ①郷土の歴史に触れる。②海洋プラスチック環境を身近な堀川運河と播磨灘で触れる。
 - ③松右衛門帆の北前船とスポーツであるヨットの動く原理は同じを体験。
- これらをワンストップで触れる仕組み。

北前船とヨットが動く原理を体験しながら高砂を知る

高砂沖から住む街を見て
地勢を知る、播磨灘の自
然環境を再認識する。

高砂沖から世界の一流品、
環境保全の製品を作る工場
群を見る、モノづくりの町
に誇りを持つ。



郷土の歴史に触れる。 (紙芝居、かるた、偉人を知る)

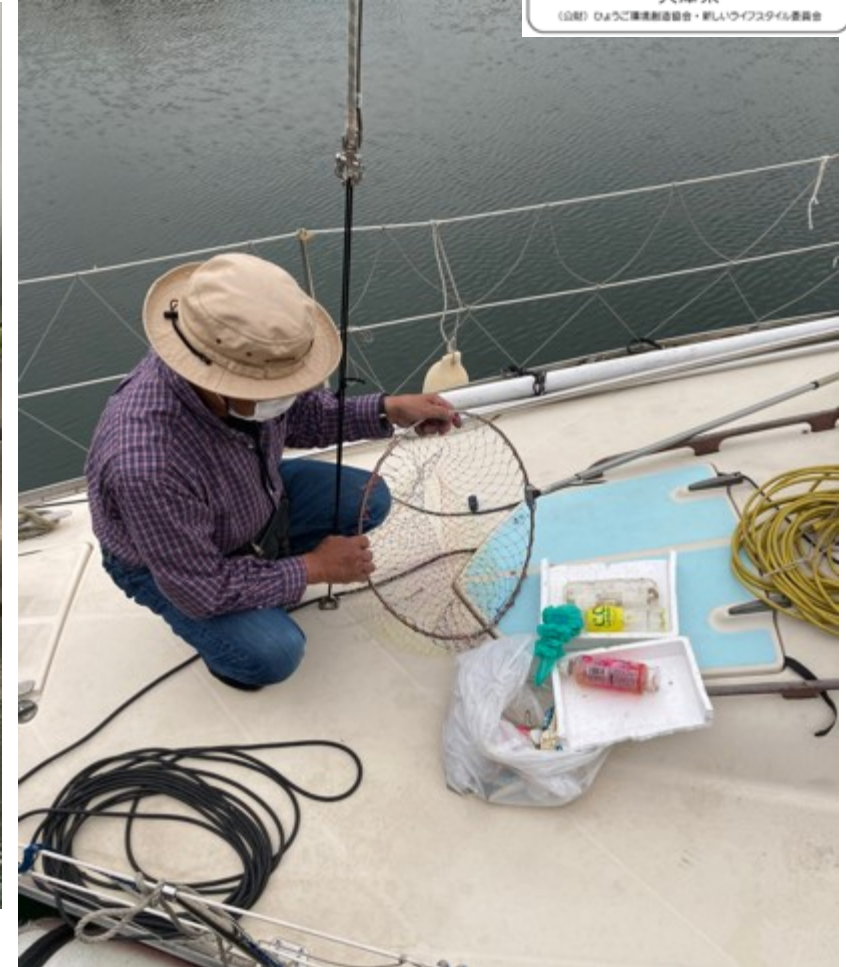


環境講座で海洋プラスチックとSDGsに触れる

荒天時の工楽旧邸内学習



堀川運河のプラスチックゴミ拾いはとても大切



月例ヨット体験で堀川運河のプラスチックごみを 皆んなで拾う。



参加のお母さんのコメント「この子達の年齢から海の環境問題を教えねばなりませんと」

「ようこそ海から高砂へ」

Well come form the sea to TAKASAGO

今流北前船

帆船みらいへ@高砂